

2020年度帰国生入学試験「専門試験」「小論文」等の狙い・意図・採点のポイント

学科・専攻	専門試験（芸術学科は小論文）	面接	専門試験 作品 利用
	狙い・意図	狙い・意図	
日本画	グレーの色面を画面の中になら配置するか。 人物をどう解釈し、表現するか。	持ち込み作品と実技試験の作品を比較し、精察した。	●
油画	デッサンや絵の具の扱い、構図力などの基礎的な力量を見極めることに加え、モチーフを通して、テーマである「つながり」を表現するための創造力や思考力をみるのが今回の出題のねらいである。	実技試験について「つながり」という出題テーマをどのように表現したか、提出作品の制作意図や日本語によるコミュニケーション能力などから総合的に判断した。	●
版画			
彫刻			
工芸			
グラフィックデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 理解力 問題の把握、理解が正しいか 伝達力 問題の意図や状況を正確に表現しているか 発想力 問題を造形化するアイデアが優れているか 描写力 構図、形、動き、量感などを描写することに必要な技術が優れているか 個性 デッサンからうかがえる品格、感性に優れているか 	<ul style="list-style-type: none"> 入学志望理由が明確であるか 授業への取り組みの意図があるか 	×
プロダクトデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 理解力 問題の把握、理解が適切か 発想力 アイデアが優れているか 独創性 他にないアイデアか 実現力 アイデア具体化方法の知識があるか 表現力 アイデアが伝わる表現か 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に必要な対話力があるか 本専攻の内容を理解しているか 本専攻への入学意図は明確か 自分の意見を述べられるか 学習意図が感じられるか 	×
テキスタイルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 理解力 問題を把握し意図を理解しているか 観察力 対象に向き合い細部まで丁寧に観察しているか 描写力 構図、形態、質感などを描写する基礎的な力が備わっているか 色彩表現力 モチーフの観察から抽出した色を中心に、優れた配色がなされ表現できているか 個性 出題に対して積極的に取り組み、自由に発想し独創的に表現しているか 	<ul style="list-style-type: none"> 授業についていくことができる日本語によるコミュニケーション能力があるか 本専攻の特徴を理解し志望理由と留学する意図が明確であるか 授業への取り組みの熱意、意図があるか 持参作品に基礎的造形力、色彩表現力、独創性があるか 将来にどのようなビジョンを持っているか 	●
環境デザイン	環境デザインを学ぶ上で最低限必要な基礎的造形力、および基礎的デッサン力があるか。形、空間を把握し、平面上に表現する能力があるか。	本学科の授業を理解できるだけの日本語能力があるか。多摩美術大学、また本学科で環境デザインを学ぶ意欲、目的意識がはっきりしているか。日本での教育から離れていたことが、本学一般入試の受験にあたって著しく不利になっているかどうか。	×
情報デザイン メディア芸術コース	0Dというモチーフの形態と質感をしっかりと捉えられること、モチーフと手により空間を構成できること、さらにそれを総合的に表現できる基礎的なデッサン力を見ること。	<ul style="list-style-type: none"> ポートフォリオに基づくプレゼンテーションで、作品のコンセプトや制作過程を自分の言葉で伝えることができるかどうか。 実技試験の感想を聞いて、出題意図の要点をどれだけ把握できているかどうか。 入学後の関心分野についての質問で、どのような将来ビジョンを持っているのか。 日常会話に支障がないかどうか、日本語の習熟度の確認。 	●
情報デザイン 情報デザインコース			
芸術	出題内容を正確に理解し、論述の着眼点が的確であるか、論旨は明確で説得力があるか、文章を構成し、まとめる力があるか、といった点が判断基準になります。常識的にまとめた文章より、テーマに踏み込んだ独自の発想を期待しています。	芸術学科で何を研究したいのか、受験生の知的能力や知的関心とその研究を進めていくのに十分な、芸術の理論や歴史に関する基礎知識はもっているか、などを判定します。	×
統合デザイン	<ul style="list-style-type: none"> 理解力 問題の把握、理解が正しいか 観察力 日常の気付きからアイデアを導きだしているか 発想力 イメージを具体化するアイデアが優れているか 描写力 構図、形、光、質感などを描写することに必要な技術が優れているか 視点 事象をとらえる感覚とその表現が適正で感性に優れているか 	<ul style="list-style-type: none"> 入学志望理由が明確であるか 本学科の内容を理解しているか 授業に必要な対話力・語学力はあるか 授業への取り組みの意図があるか 	×
演劇舞踊デザイン 演劇舞踊コース	<p>舞踊：歩きノゾギンギョウ音楽と一緒に即興的な動きの3つの項目を実施。身体を動かしながら日本語の口頭での指示を聞き取り、指示を基にして何らか実践することができているかを見た。聞こえてきた音楽を、自分なりの身体的な感覚で受け取る試みができるかどうかを見た。</p> <p>演劇： 1) 母国語での自己紹介、後に同じことを日本語でもう一度実施。日本語の表現力、自己を表現する力を見た。 2) 今日朝起きてから家を出るまでの出来事を即興的に表現するエピソード。発想力や表現の独自性を見た。 3) 激しく動き続けた後(20秒)、最後に自分の持てる最大限の声を出す(5秒)。声量や声の大きさを確認すると同時に、求められたことに対しての各自のエネルギーのかけ方を見た。 4) テキストの台詞を読む。言語的な表現能力と感性、表現の幅を見た。 5) 全員で一つのテーマを表現する寸劇を創作する。自由な課題の中でどの様な発想をもつか、集団創造におけるコミュニケーション能力が高いかを見た。</p>	主に自身の国を離れて日本に来て学ぶ動機と、大学の中でも多摩美を目指す意志を尋ねた。実技試験の感想、日常的にどの様な事柄に興味があるかを尋ねた。他、基礎過程の2年間に演劇と舞踊の両方を学ぶことに耐性があるかどうか、必修科目の中に日本語で実施される講義科目があることを承知しているかを確認した。	×
演劇舞踊デザイン 劇場美術デザイン コース			

全学科共通小論文

- 1) 題：「日本の美術の特色」という題で、あなたの志望分野を踏まえて800字程度の文章を書きなさい。
- 2) 海外から見た日本美術がどのように認識されているかを問い、日本文化への理解、関心の度合いを判断した。
- 3) 志望分野との関連で日本美術に興味・関心をどのように抱きながら、当大学で何を学びたいと考えているかという点についても合わせて考慮した。